

新しいバルクフィルシステム、その臨床的感想

ソニックフィル レジン&ソニックフィル ハンドピース

Customer Information



元大阪 SJCD 会長
奈良県 松川歯科医院
松川 敏久 先生

近年、MI治療の観点からコンポジットレジン修復が脚光を浴びてきた。それに伴い多くのマテリアルや手技・手法の開発が進んでいる。そして、セラミック修復に勝るとも劣らない審美性や強度、長期安定性を備えるようになり、多くの先生方の関心を得ようになってきた。今回、音波振動を使用した新しいバルクフィルシステム（ソニックフィル レジン・ソニックフィル ハンドピース）が開発・発売されるようになり筆者も使用しているが、その臨床的感想を述べさせていたきたい。

従来、臼歯咬合面の充填に際して、重合収縮や操作性の観点から積層充填が主流であったが、ソニックフィルシステムでは、1回の填塞（バルクフィル）で最大5mmまで充填が可能である。その具体的な利点として、

気泡混入やレジジン界面数の減少、器具離れや付形性の向上、そして短時間での治療が可能であることが挙げられる。もちろん、重合収縮や物理的強度、研磨性に関して問題はないと実感している。

ソニックフィル ハンドピースは5段階の抽出速度設定が可能で、充填部位や窩洞の大きさにより、設定を調整することが望ましい。また、単色の充填であるにもかかわらず、自然感のある色調再現が可能で、審美的にも満足のいく仕上がりが得られる。

形態の再現は、これまで臼歯咬合面の隆線や裂溝、窩を適正に付与するため、咬頭ごとに積層充填を行う方法を用いてきた。ソニックフィルシステムでは一塊で充填したあと、大まかな展開角や溝を付与し、細めのインスツルメントで小窩裂溝を付与、筆で馴染ませることで、短時間で形態再現が可能である。

臼歯部のコンポジットレジン修復は日常臨床において、特に行うことの多い修復治療の一つであるが、ソニックフィルシステムを使用することで、多くの先生方にとって臼歯部コンポジットレジン修復が楽しいものになるに違いないと確信している。



これまでの積層充填とバルクフィルの違い

●従来の積層充填



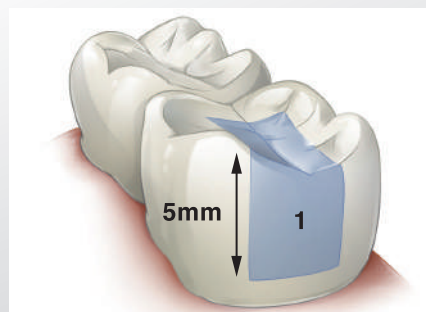
コンポジットレジンとフロアブルレジンの併用
多くのレジジン界面を有する

●2層法



フロアブルレジンによる1回充填の上に従来の
コンポジットレジンで充填

●バルクフィル



ソニックフィルによる充填
1回の填塞で最大5mmまで
レジジン界面無し

Customer's Voice



1 術前。中心窩から内部に広がるカリエスを認める。



2 カリエス除去後の状態。



3 歯面処理後、ソニックフィル ハンドピースにてソニックフィル レジン(A3)の填塞。



4 レジン充填器にて余剰分の除去。



5 裂溝、小窩の付与。



6 術後の状態。



SonicFill™

ソニックフィル

管理医療機器 特定保守管理医療機器
歯科用空気駆動式ハンドピース
医療機器承認番号：22500BZX00518000



ソニックフィル
イントロキット

ソニックフィル
レジン



ソニックフィルは歯科イノベーションの数々の賞を受賞しています。



Dr. Bicuspid
Best New Material



Pride Institute
Best of Class
Technology Award
2011,2012



REALITY
Esthetics
First Look Award
2011



Top 100 Dental
Products Report
Award



Dentistry Today
Annual Top 100
Products for 2012